

令和2年5月28日

芦屋市企画部市民参画課
課長 川口 弥良 様

芦屋市立あしや市民活動センター
(指定管理者:(特活)あしやNPOセンター)
事務局長 橋野 浩美

あしや部「JR 芦屋駅南地区の再開発を学ぼう」報告

- 1 日 時 : 5月26日(火) 16時30分～19時
- 2 会 場 : Web (Zoom)
- 3 担当者 : 橋野 浩美
- 4 参加者 : 高校生5人(灘、仁川、須磨学園、県立兵庫、通信)
大人5人(都市整備課2人、池田氏、田畑氏、橋野)
- 5 ファシリテーター : 田畑北斗氏 池田拓也(芦屋在住高校教諭)
- 6 内 容
 - (1) 目 的 : JR 芦屋駅南地区の再開発の状況を芦屋市職員に聞く。
 - (2) 内 容 :
 - 【前半】16:45～1:17:45
自己紹介
芦屋市の説明
・戦後から懸案事項となっているこの事業の歴史
・法律に基づく事業の進捗状況
・再開発後の計画 など
意見交換
 - 【後半】17:50～19:00
地方自治について、池田先生から説明。
芦屋市の説明
・議会からどのような意図で事業のストップがかかったのか
・再議請求とは何か
・現状、事業はどのような状態になっているのか
- 7 意見と質問 :
 - 【前半】
 - ・土地の価値の保障は分かるが、建物の価値の保障はどのようにするのか。
 - ・このエリアの資産価値はいくらになるのか
 - ・なぜ、再開発エリアが四角ではなく、歪なのか

- ・住宅として販売される部分は儲けになるのか
- ・ペDESTリアンデッキ（駅からビルまでの間のデッキ）に市民の声はどれぐらい反映されているのか
- ・再開発にかかる JR との連携はどうなっているのか

【前半】

- ・事業がストップになると、これまでの費用が無駄になるのではないのか
- ・駅北側の交通問題が、南側の再開発でどの程度解消されるのか
- ・地権者の方の生活はどうなっているのか
- ・色々な方との信頼を裏切ることにはならないのか
- ・ビルを低くすることで費用を抑えることはできないのか
- ・議員が反対する気持ちも、市がこの事業を進めたい気持ちもわかって難しい
- ・市の貯金が近い将来にゼロになるという話は最近わかったことなのか
- ・もっと魅力ある街にしないと歳入は増えないのではないのか
- ・商業エリアをもっと増やしてはどうか
- ・芦屋のブランド力はどれほどのものか

8 振り返り：

- ・高校生からは、行政の方と直接お話を伺う機会を持てたことが良い経験となったとの感想があった。
- ・芦屋市は、今後もこういった機会を持ちたい、大変充実した時間だったと前向きであった。
- ・前半、後半共に質問や意見が多く、予定の時間をオーバーするほどであった。
- ・あしや部は、昨年秋に芦屋市が募集した市民意見募集にも対応していたこともあり、疑問に思っていたことが理解に変わり、次は議会がなぜ反対なのかを議員の方にも聞いてみたいという想いが出てきて、市政に感心をもつことの大切さをわかってきたように思えた。



あしや部

2020年5月26日

JR芦屋駅南地区 再開

【ゲスト】
芦屋市 都市建設部 都市整備課 辻 栄田 様

【進行】
15分 自己紹介
15分 再開発の紹介
15分 質疑応答
5分 休憩
15分 なぜ再開発がストップしたのか
30分 ディスカッション
・徳野さんより、市民の反応
・池田さんより、地方自治・民主主義とは

18:10頃終了予定